

# 第2回 タマゴシンポジウム The 2nd Egg Science Symposium

## テーマ：『タマゴが創る未来の食生活』 -Egg in the Future Diet-

**日時**：2014年6月13日(金) 13:00～18:00(講演会)／18:00～19:00(交流会)

**場所**：東京大学農学部キャンパス弥生講堂一条ホール(300名収容)  
(〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 地下鉄南北線東大前駅より徒歩5分)

**主催**：タマゴ科学研究会

**後援**：農林水産省、日本栄養・食糧学会、東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター、  
NPO食の安全と安心を科学する会(SFSS)、キューピー株式会社

**参加費**：講演会2,000円(学生無料)、交流会1,000円(当日現金にて承ります)  
なお、交流会はお申込み先着順100名様とさせていただきます。

**参加申込み**：シンポジウムの詳細ならびに参加申込みはこちらのサイトで⇒<http://japaneggscience.com>

**お問合せ先**：タマゴ科学研究会 事務局

Tel: 080-9343-1105 Fax: 03-5384-7860

### ■プログラム(敬称略)

- 13:00～13:05 ご挨拶  
関崎 勉(東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター長・教授)
- 13:05～13:10 開会のご挨拶  
菅野 道廣(タマゴ科学研究会理事長、九州大学・熊本県立大学名誉教授)
- 13:10～14:00 基調講演 座長：阿部 啓子(東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授)  
『タマゴと健康：今どこまで解っているのか』  
菅野 道廣
- セッションⅠ** 座長：八田 一(京都女子大学 家政学部 教授)  
14:00～14:40 『卵の摂取と血中コレステロールとの関係』  
川端 輝江(女子栄養大学 基礎栄養学 教授)  
14:40～15:20 『卵の摂取とHDLの量や質について～心疾患との関連～』  
安田 知行(神戸大学大学院医学研究科内科学講座循環器内科学医学研究員、  
加古川東市民病院循環器内科医長)
- 15:20～15:50 コーヒーブレイク
- セッションⅡ** 座長：峯木 眞知子(東京家政大学大学院 栄養学科 教授)  
15:50～16:20 『卵のおいしさについて～おいしい卵の開発～』  
鈴木 和明(JA全農飼料畜産中央研究所 養鶏研究室 主任研究員)  
16:20～16:50 『調理加工方法が卵のおいしさや生理作用に及ぼす影響』  
小川 宣子(中部大学応用生物学部 教授)
- セッションⅢ** 座長：渡邊 乾二(岐阜大学名誉教授)  
16:50～17:20 『多彩な機能性を示す卵白由来の新しい生理活性ペプチド』  
大日向 耕作(京都大学大学院 農学研究科 准教授)  
17:20～17:50 『企業におけるタマゴの基礎研究とその応用～乾燥卵の変性制御～』  
半田 明弘(キューピー(株) 研究開発本部技術研究所 プリンシパルコーポレート  
サイエンティスト)
- 17:50～17:55 閉会のご挨拶  
局 博一(東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター 特任教授)
- 18:00～19:00 交流会

※各演者の演題は変更になる可能性があります。